



OMUTA ECO TOWN

大牟田 エコタウン

環境リサイクル
企業立地のご案内



大牟田エコタウン

エコタウン事業とは

エコタウン事業とは、ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロとすることを目指す「ゼロ・エミッション構想」を基軸に、地域の振興を図りながら環境と調和したまちづくりを推進する事業です。

大牟田市は、福岡県をはじめとする関係機関の協力を得ながら「大牟田エコタウンプラン（環境と調和したまちづくり計画）」の策定を進め、1998年7月に全国で5番目のエコタウンとして、国から承認を受けました。

環境にやさしいまちづくりが進行中

大牟田市では、「大牟田エコタウンプラン」により、これまでの使い捨て社会から資源循環・環境共生型社会への転換を図り、広域的な環境保全と新産業の創出を目的に、環境・リサイクル産業の創出・育成の取り組みを進めています。

現在、大牟田エコタウンには、公共関連4施設（大牟田市エコサクセンター、大牟田リサイクル発電所、大牟田・荒尾RDFセンター、大牟田市リサイクルプラザ）が稼動し、環境・リサイクル産業団地においても、特色ある技術を活かしたさまざまな企業が立地しています。

大牟田市のご紹介

- 位置** 福岡県の南部、九州のほぼ中心
- 面積** 81.45km²
- 人口** 118,351人（2016年10月1日現在）
- 工業** 2,772億円
製造品出荷額等（2014年）
- 教育施設**
 - ・有明工業高等専門学校
 - ・帝京大学福岡医療技術学部
 - ・高校7校（うち工業系2校）
- 自然災害**
 - ・近くに活断層はなく、過去に震度5以上の大規模な地震の発生はありません。

出展：気象庁
「震度データベース検索」
（対象期間：1923年以降）



アクセス

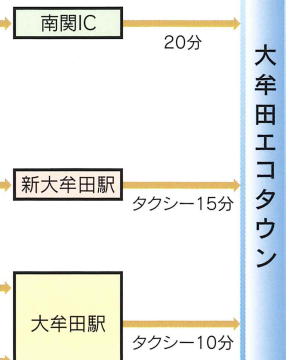


車	福岡IC	69km	60分
	熊本IC	36km	30分
	佐賀大和IC	66km	50分
	大分IC	166km	120分
	鹿児島IC	211km	150分
	宮崎IC	222km	170分

新幹線	博多	27分
	熊本	14分
	鹿児島中央	64分

JR	博多	60分
	熊本	45分

西鉄	福岡(天神)	58分
----	--------	-----



大牟田 エコタウン



充実した交通ネットワーク

大牟田エコタウンは、有明海沿岸道路健老インターチェンジと隣接しており、直接乗り入れることが可能となっています。リサイクルポートの指定を受けている三池港へも車で約10分という非常に利便性の高い場所にあります。

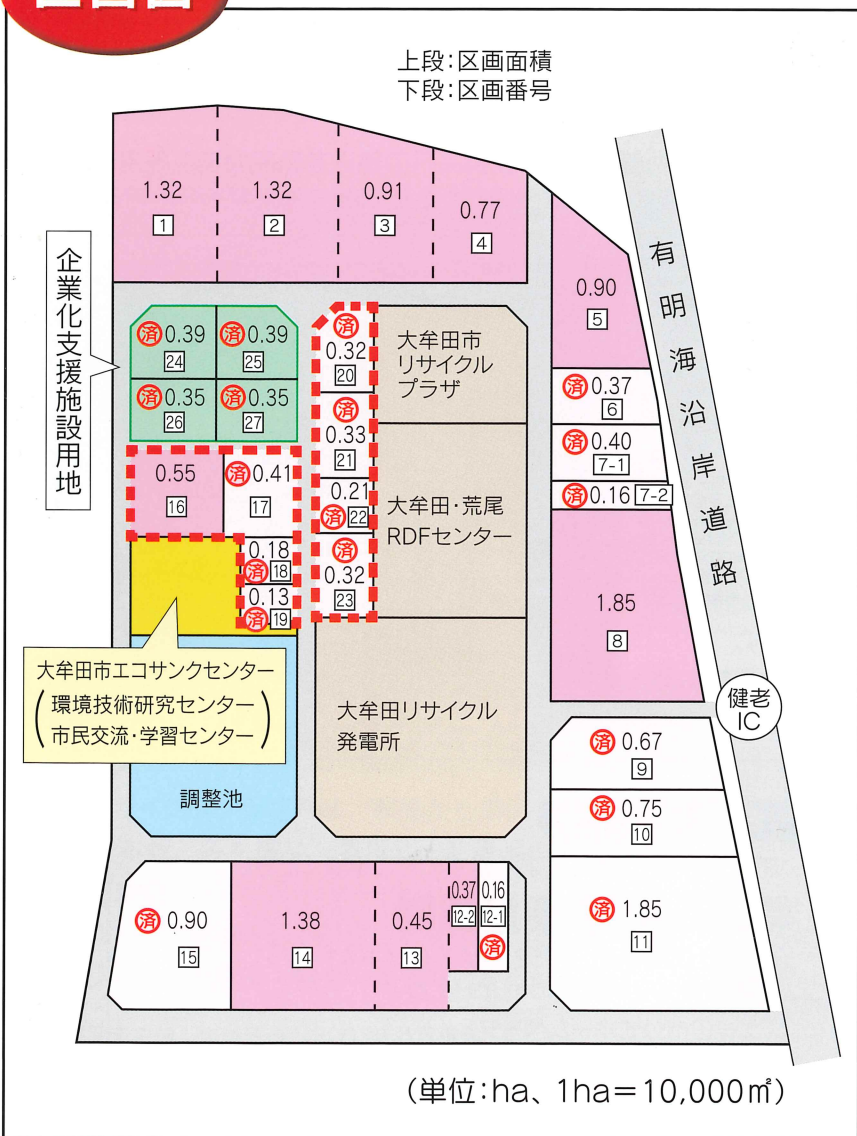
※有明海沿岸道路とは無料の自動車専用道路で、三池港を起点に佐賀県鹿島市までの55kmが計画されています。現在は、三池港IC～大川中央IC(約25.7km)区間が開通しています。

グリーンアジア国際戦略 総合特区 指定区域

大牟田エコタウンは、福岡県等が取り組みを進めている「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定区域です。

この特区で、対象となる事業(資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成、環境性能が高い製品の開発など)を実施する企業は、国や県の支援措置を活用することができます。

区画図



団地概要

所在地 福岡県大牟田市健老町

造成主体 健老町土地区画整理組合

総面積 約32ha

造成区分 造成済み

対象業種 環境・リサイクル産業

用途地域 工業専用地域

建築基準 建ぺい率:60%以内
容積率:200%以内

用水 上水道/口径別従量料金制
工業用水/約60円/t
(契約水量100t/日以上)

排水 下水道完備

電力 標準電圧/6,600V

地盤 支持地盤まで20~24m

地耐力 5t/㎡

分譲価格 11,200/㎡
(16のみ11,000/㎡)

大牟田エコタウン内の公共関連施設



大牟田市エコサックセンター

エコサックセンターは、環境関連技術の開発及び企業化の支援を目的とした「環境技術研究センター」と環境に関する啓発を目的とした「市民交流・学習センター」が一体となった施設です。

大牟田エコタウンの中核的支援施設として、環境に関する様々な企業活動や市民活動をサポートしています。

■事業主体：大牟田市 2002年6月オープン

大牟田リサイクル発電所

RDF(ごみ固形化燃料) 発電事業は、広域的なごみ処理とダイオキシン類対策として実施しています。

発電所では、大牟田市を含む近隣21市町村(7施設)で製造されたRDFを高温で焼却し、その熱を利用して発電を行います。

■事業主体：大牟田リサイクル発電株式会社
2002年12月稼動



大牟田・荒尾RDFセンター

RDFセンターでは、大牟田市と荒尾市の家庭等から排出される可燃ごみを破碎・乾燥・選別・圧縮成形しRDFと呼ばれる固形化燃料にします。

RDFは、隣接する発電所にコンベヤで搬送され、燃料として使われます。

■事業主体：大牟田・荒尾清掃施設組合
2002年12月稼動

大牟田市リサイクルプラザ

リサイクルプラザでは、家庭から排出される粗大ごみや不燃ごみを破碎・選別し、金属等の資源物を回収します。

また、資源物として回収した空き缶、空き瓶、紙類、トレーなどの選別・梱包・保管などを行います。

■事業主体：大牟田市 2003年4月稼動

